

令和8（2026）年度  
福岡アジア美術館 アーティスト・イン・レジデンス事業  
募集要項

1 目的

福岡アジア美術館は、アジアをはじめとする国内外のアーティストを一定期間招聘し、福岡での創作活動や作品発表等の機会を提供することで、アーティストが刺激し合って成長し、福岡から世界に羽ばたくことを支援します。また、市民との様々な美術交流を推進することにより、アジアの現代アートや文化に対する理解を育み、多様性のある地域文化の発展に努めます。さらに国内外との人的・組織的なネットワークを構築するなど、福岡アジア美術館は、本事業を通じてアジア美術の交流拠点になることを目指します。

2 主催者

福岡アジア美術館

3 滞在期間

第1期 令和8（2026）年7月中旬～10月中旬（90日程度）

第2期 令和8（2026）年10月～12月（80日程度）

第3期 令和9（2027）年1月中旬～3月（70日程度）

※滞在期間・日数は、作品プラン等を考慮し、応募者と相談の上、決定します。

4 招聘人数

公募による被招聘アーティスト：

第1期 2人（組）程度

第2期 2人（組）程度

第3期 2人（組）程度

※1組複数人で応募する場合、主催者が負担する費用は1人分とします。

※応募する者の居住地および国籍は問いません。

5 対象となる被招聘者

① 現代アートにおける活動実績が認められ、かつ将来の国際的な活躍を期待される者

② アジアとの交流を継続的におこなうことができる者で、居住地および国籍は問いません

③ 週5日程度、活動できる者

④ 日本での日常生活が可能な程度の日本語、もしくは英語が話せる者

⑤ 美術専門家、美術関係機関・団体等からの推薦（別紙：推薦状一通）が得られる者

## 6 滞在中の主な活動内容

### ① 創作活動

福岡での創作環境を活かした作品制作やプロジェクト等を公開でおこないます。  
(地元の協力者や大学等との連携を図り、被招聘者の創作活動を支援します。)

### ② 美術交流活動

市民や子ども、来場者等を対象としたワークショップ等を2回程度、トークを2回程度おこないます。

### ③ 成果発表

滞在中に制作した作品や活動の成果を、展覧会等で公開します。  
(滞在期間を通じて、被招聘者の活動を広報・支援します。)

## 7 制作・展示場所及び宿泊施設

### ① 主な制作場所：Artist Cafe Fukuoka スタジオ（福岡市中央区域内2-5）

スタジオ使用面積：30～130m<sup>2</sup>

使用日時：11:00～19:00、月曜休館 ※月曜が祝日・振替休日の場合は翌日休館  
[<https://artistcafe.jp/about/>]

### ② 主な展示場所：Artist Cafe Fukuoka ギャラリー、スタジオ

### ③ 宿泊施設：当館が指定する市内のマンスリーマンション等の宿泊施設

## 8 大学との連携

希望する者は、以下の大学との連携のもと創作活動等をおこなうことができます。  
但し、選考後に大学との協議において了承された内容に限る。

### ① 九州大学芸術工学部（福岡市南区塩原4丁目9-1）

- ・大学教員 [<https://www.design.kyushu-u.ac.jp/faculty/>]からの助言・交流、学生との創作・美術交流活動など
- ・大学施設の利用 [<https://www.design.kyushu-u.ac.jp/facilities/>]

### ② 九州産業大学芸術学部（福岡市東区松香台2丁目3-1）

- ・大学教員 [<http://www.kyusan-u.ac.jp/kyugei/teachers/>]からの助言、学生との創作・美術交流活動など
- ・大学施設の利用 [<http://www.kyusan-u.ac.jp/kyugei/equipment/>]

## 9 当館が負担する経費

### ① 海外・国内移動費

居住地から福岡までの移動費(エコノミークラス往復航空運賃もしくは往復鉄道等運賃)

### ② 宿泊費

当館が指定する宿泊施設の宿泊費 ※福岡市内の在住者は支給なし

### ③ 宿泊手当（朝食・夕食費等）

当館が定めた額（1日2400円）。※福岡市内の在住者は支給なし

- ④ 創作活動及び作品展示のための経費  
当館が必要と認める材料費、調査費、制作・展示経費等（上限 50 万円）
- ⑤ 美術交流活動  
当館が必要と認める材料費等
- ⑥ 展覧会広報経費  
展覧会チラシ、看板、SNS等の製作費
- ⑦ 展覧会期間中の作品保険等の加入
- ⑧ その他当館が必要と認める経費

## 1 0 その他

- ① 被招聘者の家族の同伴は、原則、認めません。
- ② 滞在中の一時帰国や他国への出国は、原則として認めません。
- ③ 作品の引き取り・返却にかかる費用は、被招聘者で負担してください。
- ④ 滞在中のけが、疾病等による医療費は、被招聘者で負担してください。

## 1 1 応募方法

- ① 当館ウェブサイト [<https://faam.city.fukuoka.lg.jp/residence/requirement/>] より、応募用紙、推薦状書式（様式 1～3）をダウンロードしてください。なお、当館レジデンス事業の詳細については、同ウェブサイトにある「実施要綱・要領・施行細則」をご覧ください。
- ② 指定するオンライン上の応募フォーム [<https://forms.gle/VUSU2agSne1Tj4JVA>] に必要事項を記入の上、様式 1～3 の資料を添付しご応募ください。  
※応募フォームが利用できない場合は、当館ウェブサイトの注意書きを参照の上ご応募ください。
- ③ その他の添付資料
  - 1) 過去 5 年以内に制作した作品のデジタル画像。  
※様式 2 に、タイトル、制作年、素材、手法、作品解説を記入し、申請者の名前とその No. を画像のファイル名にしてください。  
※作品は 5 点まで、画像は 10 点までとします。  
※映像は添付せず、インターネット上に公開または保管されたアドレスをご記入ください。
  - 2) 申請者の顔写真（デジタル画像）

※応募用紙、添付資料あわせて、20 MB 以下であること。

※提出物は内部研究資料として当館にて保管し、返却はしません。

1 2 応募期間

令和7（2025）年12月25日～令和8（2026）年1月25日

※締切は、日本時間 2026年1月25日23時59分

1 3 選考方法

「福岡アジア美術館アーティスト・イン・レジデンス事業被招聘者協議委員会」等において被招聘候補者を選考。結果は令和8年4月上旬に当館ホームページで発表するとともに、候補者には直接連絡します。なお、被招聘候補者の選考についてのお問い合わせには、一切、お答えできません。

1 4 お問い合わせ

福岡アジア美術館 学芸課 交流・教育係

E-mail: air@faam.ajibi.jp URL: faam.city.fukuoka.lg.jp